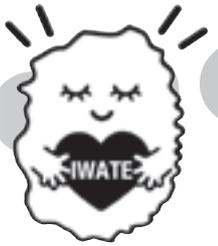


岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数／365名（2017.4.9現在）

編 集 発 行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 川守田方

TEL：090-2604-7918 FAX：019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信）／<http://hospice.sakura.ne.jp/>

No. **57**
2017年5月

岩手ホスピスの会 2016 年度総会開催

岩手ホスピスの会 2016 年度総会は 2月4日
開催され、新年度の事業計画として

1. がん患者とその家族を様々な角度からサ
ポートする

①脱毛に悩む患者さんのためにタオル帽子
活動

②患者さんを支援するイベント開催（がん
患者さんのための栄養講座、緩和ケアセ
ミナー開催等）

③がんなんでも電話相談「がん相談ホットライン」活動

2. 全国関連団体への積極的活動協力を行い相互の情報交換を深め、岩手と日本のがん医
療・緩和ケアの推進をはかる。

3. 設置された各ホスピスへの見守りとボランティア協力

①一般の方への岩手県内ホスピスの啓蒙のため、県内ホスピス支援イベント開催

②岩手県内各ホスピスの定期的な現状調査

—等が提案・承認され、新年度役員が以下の通り選出されました。



2016 年度総会（2月4日、盛岡市・河南公民館にて）

《新年度役員》

代表：川守田裕司 **副代表**：伊藤ヨシ子 **事務局長**：吉島美樹子

幹事：佐々木順子、浅田京子、佐々木弥生、蛇口真理子、佐々木昌子

会計：池乗育代、細川恵美子 **監査**：菊地克昌、佐々木美穂子

岩手県内では現在ホスピスが、盛岡市3ヶ所、県中央部（北上市）に1ヶ所、県南部（一関市、奥州市）に2ヶ所の計6ヶ所に設置されました。岩手医科大学附属病院にも2019年の設置が予定されています。更に沿岸部や県北部にもホスピスが開設され一人でも多くの方が充実した緩和ケアを受けられることが私たちの願いです。

新たにがんという病を得た患者さんは全国に多数おられます。そのような患者さんにいかにしてタオル帽子の情報を届け、それによりがんの悩みが軽減されるように模索していくことが、昨年に続いて今年も大きな課題となります。

がん患者さんの様々な痛み・悩みに少しでも寄り添い支えることを目標として、新年度も活動していきます。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

「いのちがいちばん輝く日」 ～あるホスピス病棟の40日～ 上映会開催

(12 ページに新聞記事掲載)

2016 年度総会記念映画上映会を2月4日に開催し、330人の参加者があり満員の盛況で、改めて一般の方々のホスピスへの関心の高さを感じました。この映画は、日本で初めてホスピスでの日常を映し出したドキュメント映画です。まず痛み治療のスペシャリストが患者さんのがんの痛みをきちんととる。その上ですべてのスタッフが様々な形で患者さんに寄り添い、可能な限りその人らしく、限られた時を過ごせるように支援すること。それがホスピスの役割である、としてイギリスのシシリーソunders医師が今から約50年前に世界で初めてロンドンにホスピスを設置しました。

そして、現在この盛岡市にも3カ所、岩手県内では合計6カ所にホスピスが設置されております。ゼ

ひこの機会に、私たちの身近にあるホスピスについて知っていただき、患者さんやご家族のお役に立てていただければと上映会を開催しました。

また、私たちホスピスの会もホスピスの心・理念である、病める人、弱い人に寄り添い助け合い共に生きることを実践を目指し、様々な活動を行っています。

病める人に寄り添う活動の一つとして、抗がん剤の副作用で脱毛した患者さんを支援するタオル帽子活動を行っております。

この映画を通じて、一人でも多くの方に、患者さんに寄り添うホスピス施設の日常について知っていただきたい、また困難を背負う人々に寄り添うホスピスの心について、ぜひ知っていただきたいと願っております。「ホスピス」とは施設という意味だけではなく、悩める他者に寄り添い助け合うことの象徴です。医療者でなくとも、今すぐどなたにでも日常的に実践できるものだと思います。



満員の盛況だったホスピス映画上映会

…… 上映会参加者アンケートより抜粋 ……

※自分のがん患者ですが、これまでホスピス病棟へのある種の偏見があった気がします。でもこの映画を見て、本当のホスピス病院の素晴らしさ、重要性が理解できました。こうした施設がもっともっと岩手にあっても良いと思います。

※ぜひこの映画を題材として、岩手県のホスピスの現状やこれからの展開などをお聞きしたいと思っています。

※ホスピス自体は聞いたことがあったが、どういう治療内容かまでは知らなかったもので、非常に為になった。死に対してどう向き合えばよいのか知ることができて良かった。



上映会会場ロビーでタオル帽子等を展示

岩手医大緩和ケア医師研修参加レポート

平成 28 年度第 2 回岩手医科大学附属病院緩和ケア研修会が 1 月 21、22 日岩手医大循環器医療センターで開催され、集まった医師の方々が様々な角度から二日間に渡って緩和ケア研修を受けました。研修会には当会から 2 名患者の立場から講師として招かれ、「岩手県における患者さんの声」と題して、患者の立場から緩和ケアの充実、緩和ケア医療のスキルアップの必要性、医療用麻薬をもっとうまく使用して欲しい等を、集まった医師の方々に訴えました。

現在闘病中で、がんの辛い痛みと向き合うある患者さんの日常についても紹介し、その思いを伝えました。



患者の声を届けた医師研修

岩手県内各ホスピス現況 (2017 年 3 月現在) 盛岡友愛病院緩和ケア病棟

(8 ページにもご案内を掲載)



昨年 11 月盛岡友愛病院緩和ケア病棟で開催された「岩手ホスピスの会うたごえカフェ」

- 住所／岩手県盛岡市永井 12-10
- 電話／019-638-2222
- 病床数／18 床
- ベッド／個室 10 床のうち 9 床が有料 4 床室無料
- 有料室料金／1 日 5,400 円
- 看護師数／15 名 + 補助 3 名
- ホスピス医／藤井祐次先生
- 看護師長／高橋美穂子さん

- 入院審査を受けるには／医療相談室まで。
TEL：019-638-2222 (代表)
月～金曜：9：00～17：00
土曜：9：00～12：30
- 審査日／週 2 回を予定
- ホスピス入院平均待機者数／4～5 名
- ホスピス入院平均待機期間／個室は 1～2 週間程度
大部屋希望の場合は 1～数週間程度
(大部屋は希望が多いため、患者さんの意向を確認後、一般病棟で待機する場合があります)
- 利用者内訳／盛岡市周辺の方がほとんど
- 緩和ケア外来／開設未定
- ホスピスボランティアの人数と活動／年 1 回程度イベント時活動
- 遺族会の名称と連絡先／設置未定
- 入院料／定額制。入院期間により 3 段階。患者さんの自己負担額は加入している保険等により異なる。各種医療保険適用、医療費の他に食事代別途徴収。
- ペットの同伴／面会のみ可能。条件あり。要申請。
- 麻酔医との連携／なし

「岩手ホスピスの会」がん相談ホットライン



開設日	毎月第 2 土曜日 午後 1 時 30 分～4 時 (月により変更あり) 相談無料
場所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場 (月により変更あり)
内容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来院して頂き対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	岩手ホスピスの会 090-2604-7918

タオル帽子作り講習会開催

3月24日(金)、東京都千代田区九段のMSD株式会社において、同社の社員ボランティアプログラムとして「抗がん剤治療を行う患者さんに贈るタオル帽子作り」が開催され、社員25名が参加しました。

当会からは作成講師として3名のボランティアさんが参加し、丁寧な指導により参加した皆さんが素敵な帽子を作りあげ、出来上がった帽子は全て当会に寄付されました。

この取り組みは昨年7月にも同社で開催され、その際も当会が作成講師として同社に招かれています。

MSD株式会社は医療用医薬品、医療機器の開発・輸入・製造・販売を行っており、同社によるCS(顧客満足)活動の一環として、患者さんの役に立つような活動をしたいという主旨で、今回が3回目の企画開催となりました。同社では今後さらにタオル帽子作成配布活動に協力する方向で検討が進められています。



MSD社員の方々にタオル帽子作りを指導

書籍紹介

苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン (2010年版)

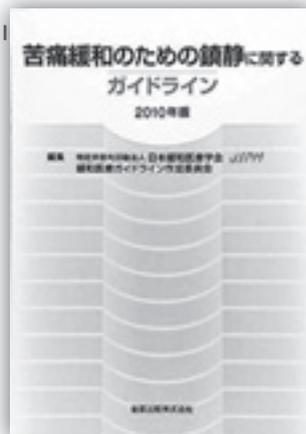
- 著者：日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン作成委員会
- 出版社：金原出版株式会社
- 発行日：2010年6月
- 価格：1,944円(税込)

〈内容〉

意識を保つことを前提とした緩和ケアでは緩和することができない苦痛に対する「鎮静」についてのガイドライン。鎮静の定義と分類、倫理的妥当性などの鎮静実施の基本となる概念から、臨床の現場ですぐに応用可能な「治療抵抗性判断のためのチェックリスト」「患者・家族とのコミュニケーション例」、さらに文献的検討の要約まで幅広く記述。鎮静実施のためのフローチャートを掲載し、体系的に鎮静を理解できる内容となっている。

(Amazon 内容紹介より)

(終末期の強い痛み緩和のため、セデーションを希望する方は少なくありません。しかし、セデーションは医師や病院によって意見が異なり、院内倫理委員会にかけられる病院もあります。まだ一般的にはその現状がよく知られていないセデーション。この本は、セデーション「鎮静」について言及している数少ない書籍です。)



新年度会費の納入をお願いいたします。

岩手ホスピスの会は皆さんの会費により運営されております。2017年度会費(2017年1月～2017年12月分)を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上振込をお願いいたします。

なお、行き違いですすでにお支払いいただいております折は、なにとぞご容赦ください。

また、ご住所の変更があった方はお手数ですがご連絡をお願いします。

会費：1,000円(複数口可) 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会

高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう

東日本大震災から6年。私たちホスピスの会が震災後、何度もお伺いした陸前高田の街も復興に向けて少しずつ確実に前に進んでいます。

3月11日と12日、陸前高田市高田町の災害公営住宅下和野団地で東日本大震災復興祈願イベント「高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう」が開催され、当会からも参加しました。

会場にはボランティアの人たちが作った無数のイルミネーションが灯り、震災で亡くなった尊い沢山の命を追悼していました。その中でもひととき大きく光輝いていた「輝」の文字。



会場で光輝いていた「輝」の文字

「輝(ひかり)」は、大震災で命を落とした一人、陸前高田の消防団員だった当時25歳の菊池勇輝さんの「輝(ひかり)」です。



会場内の「市民交流プラザ」で行われたボランティアさんによる飲食サービス

菊池勇輝さんの祖母、菊池ナカさんと昨年の「高田に輝の花を咲かせよう」イベント会場でお会いし、「いつも茹で卵や豚汁等持って来てくれてありがとね!」と声をかけていただきましたが、その後まもなくナカさんも亡くなりました。

被災地を訪ねる度に、人の命は有限であることを改めて思い知らされます。

勇輝さん、ナカさんの冥福を祈り、被災地で出会った全ての人たちの幸せを願いました。

書籍紹介

市民ホスピスへの道 <いのち>の受け止め手になること

- 著者：山崎章郎 二ノ坂保喜 米沢慧
- 出版社：春秋社 ○発行日：2015年12月17日
- 価格：1,944円(税込)

<内容>

いま、いのちは医療から市民の手へ。もはや病院で死ぬことが難しいといわれる時代に、ホスピスは病院からコミュニティの中へ、そしていのちの担い手の主体は「市民」へと移ろうとしている。実践をふまえ「市民ホスピス」という新たな可能性を投げかける書。

「ホスピスとは施設ではなくて運動なのだということをまず認識してもらいたい。その人が本当に人間らしく生きる、そしてその人たちをみんなで支えることができる、そしてそれぞれの人権が守られる社会にしていこうというのがホスピス運動の基本です。(本書より)」

ホスピスの心を実践しようと活動している私たちホスピスの会にとって、「ホスピスは運動」という言葉はとてもしっくり来る気がします。

「ホスピス運動」について様々な角度から考察した、大変興味深い一冊です。



がん対策推進計画に患者と家族の声を届けよう

(12 ページに新聞記事掲載)

第 19 回岩手県がん対策推進協議会は 3 月 16 日盛岡市内で開催され、新年度の取組である次期岩手県がん対策推進計画等について委員間で話し合いが行われました。

新年度のがん対策の取組について当会は「患者家族による専門委員会を設置して、患者家族の意見を岩手県がん対策推進計画に反映させてほしい」と意見を述べましたが、県医療政策室の高橋地域医療推進課長は、「特に新しく組織を設置することは考えておらず、既存の患者会連絡会等で吸い上げた意見を計画に反映させたい」と述べるにとどまりました。



「患者家族の声を届けて」と訴えた協議会

ケアタウン小平見学レポート

「住み慣れた街で最期まで生きて逝く」を目指して活動を開始して 12 年目。専門的な「ホスピス緩和ケア」を提供する 24 時間・365 日対応の在宅専門クリニックを中心とする「ケアタウン小平」を訪問してきました。

ケアタウン小平の他と異なる特徴は、①訪問診療②訪問看護③ケアマネ④訪問介護⑤デイサービス—これら全ての事業拠点が同じ建物内に集約されており、これにより各事業拠点がホスピスケアの理念を共有しながら一人の在宅患者さんについて速やかに情報を共有し、質の高いチームケアを提供できる点にあります。



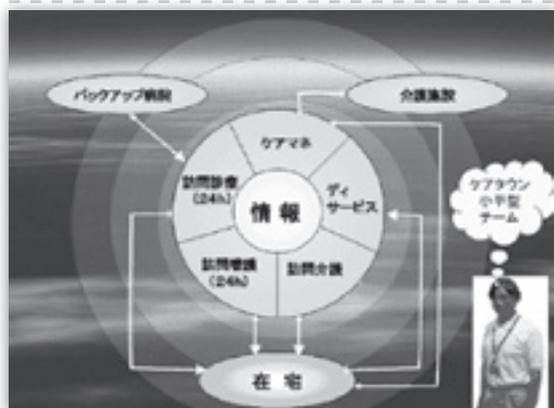
「ケアタウン小平」正面入口

ケアタウン小平の 1F には①訪問看護ステーション②デイサービスセンター③ケアマネジメントセンター④子育て支援事業拠点アトリエ⑤在宅医療専門「ケアタウン小平クリニック」があります。2F3F は賃貸アパート「いっぷく荘」で、高齢で病気を抱えながらも一人暮らしで自立した生活をして

たいと考える方々が暮らしています。

ケアタウン小平のこのような多職種連携に欠かせないのが地域のボランティアの存在であり、ボランティアを含めた多職種によるチームケア = 質の高いホスピスケアを推進し、患者さんが最後まで地域の中で尊厳と自立を持って暮らせることを目標としています。

ホスピスという建物を抜け出し、開かれた地域の中で質の高いホスピスケアを実現しようと活動している様子に大変感銘を受けました。



各事業拠点を同じ建物内に集約

法人名：特定非営利活動法人 コミュニティケアリンク東京 理事長：山崎章郎

所在地：〒187-0012 東京都小平市御幸町131-5 ケアタウン小平

法人事務局 電話番号：042-321-5985 FAX：042-321-5982 e-mail：linktokyo-jim@w7.dion.ne.jp

がん患者さんのための栄養講座 パート 22

岩手県立胆沢病院 がん病態栄養専門管理栄養士
蛇口 真理子

暖かくなり過ごしやすい季節になりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

観光に心地よい季節ですが、化学療法の治療後などで吐き気があり、「すっきりしない…」と家で過ごされている方もいらっしゃるかもしれません。今月は治療中で吐き気がある場合の食事の対応について紹介します。

抗がん剤により吐き気は、抗がん剤の投与後から24時間以内に現れる場合（「急性」）と、投与24時間後に現れる場合（「遅延性」）に分類されます。「遅延性」は2～5日ほど続く傾向があります。吐き気は使用する薬剤や量によっても異なります。吐き気があるときは無理に食べなくても良いのですが、体力の低下も気がかりですよね。食事の匂いで吐き気がする場合は、さましてから食べることで匂いは軽減されます。また匂いの少ないゼリーやかき氷などは口当たりもよく食べやすいです。

吐いてしまった後の食べ始めとしては、冷やした水やスポーツドリンク、ゼリーなどがお勧めです。また、胃への負担が少ないものとしておすすめは炭水化物もの（ごはん、麺、パンなど）、逆に控えた方がいいものとして食物繊維の多いもの（ゴボウなどの根菜類や海藻など）や脂肪の多い揚げ物が挙げられます。

食事で工夫できることもありますが、吐き気が続くような時は主治医や薬剤師に相談してみましよう。

今回は、手軽に作れる自家製シャーベットを紹介します。簡単なので、お子さんの夏のおやつと一緒に作ってみても楽しいですよ。



★もみもみ桃シャーベット（1人分 約65 kcal）

材 料	分 量 (2人分)
黄桃缶	半割れ1個
ヨーグルト	80g



作り方

- ① 桃缶のシロップの水気を切り、一口大にカットする。
- ② ①をフローズンバック（ポリ袋でも可）に入れ、手で桃を揉んで潰し、さらに分量のヨーグルトを入れ軽く揉む。
袋の空気を抜きながら密閉し冷凍庫で1時間冷やし、少し凍ったところで、再度揉み、30分～1時間凍らせる。
- ③ できあがり。冷凍庫で2週間は保存可能です。ヨーグルトは加糖タイプや低脂肪タイプなどありますのでお好みで。小さいカップタイプ1個（約80g）を使用すると、計量をしなくても簡単にできます。

参考文献：よりよい治療のために吐き気ケアブック 監修 山形大学医学部臨床腫瘍学講座教授 吉岡 孝志

岩手県内各ホスピス現況 (2017年3月現在)

(岩手ホスピスの会調べ 詳細は各病院に直接お問合せ下さい) (3ページにもご案内を掲載)

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	一関市狐禅寺字太平 17 番地	北上市村崎野 17 地割 10 番地	奥州市水沢区羽田町 字水無沢 495-2
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	24 床 (個室 20、2 床室 2)	24 床 (個室 18、2 床室 3)	20 床 (全室個室)
ベ ッ ト	無料個室 8 床 有料個室 2 床	無料 12 床 有料 10 床	無料 17 床 有料 7 床	無料 14 床 有料 10 床	無料 20 床
有 料 室 料 金	1 日 3,240 円	1 日 5,400 円・ 10,800 円	1 日 3,130 ~ 6,370 円	1 日 3,240 ~ 13,180 円	無料
看 護 師 数	16 名	22 名 + 看護補助者 2 名	17 名	17 名 + 補助 3 名	17 名 + ケースワーカー 1 名 + 看護補助者 5 名
ホ ス ピ ス 医	米山幸宏先生	旭博史先生、 畠山元先生	平野拓司先生	佐々木光晴先生、 桐生幸生先生、 星野彰先生、 平賀一陽先生	及川司先生
看 護 師 長	白澤美代子さん	高橋節子さん	和泉美奈子さん	菊池恵美子さん	小林洋子さん
入 院 審 査 を 受 け る に は	医療福祉相談室に ご相談ください。 月~水・金・土 9:00 ~ 17:00 木 9:00 ~ 12:30	緩和ケア相談室へお 問い合わせください。 月~金曜 9:00 ~ 16:00	0191-23-3452 (入院相談等) がん相談支援センター 相談時間: 平日 9:00 ~ 16:00	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間: 平日 9:00 ~ 16:00	入院相談 (担当: ケー スワーカー) 後面談 入院検討会 (医師、 薬剤師、栄養士、看護師、 理学療法士で構成)
審 査 日	随時	随時	随時	随時	随時 (その後ベッド が空くまで待機)
ホスピス入院 平均待機者人数	0 ~ 2 名	0	0	3 ~ 4 名	0
ホスピス入院 平均待機期間	状況により数日~ 2 週間 重症者優先	外来受診後、 平均 6 日	1 ~ 2 日	待機期間は同院一般 病棟や近隣の病院、 連携のとれている訪 問診療で対応	0
利 用 者 内 訳	盛岡市周辺がほとん ど (8 割以上)	盛岡市周辺の方がほ とんど	一関市周辺や宮城県 北の方がほとんど	花巻北上周辺の方が 8 割以上。その他は 奥州、盛岡等	奥州市周辺の方がほ とんど
緩和ケア外来	診察日: 月~水・金・土 8:30 ~ 17:15 木 8:30 ~ 12:30 担当医: 米山幸宏先生	診察日: 月・火・水、要予約 担当医: 旭博史先生・ 畠山元先生	診察日: 月~金、要予約 担当医: 平野拓司先生	診察日: 月~金の午前、 要予約 担当医: 星野彰先生	診察日: 水、要予約 担当医: 及川司先生
ホスピスボラ ンティアの 人 数 と 活 動	登録者 24 名 実働 7 ~ 8 名 ホスピスボランティ ア募集中 019-656-2888	病院ボランティア登 録者 25 名。うち 23 名がホスピスで活動 中。	ボランティアコー ディネーター 2 名、 ボランティア 12 名 活動: ティータイム、 季節の行事、がん患 者サロン (こころば)	H23 年 6 月 ~ ボラン ティア活動開始 40 名登録 定期的に研修を行っ ている	現在登録者 5 名で活 動中。ホスピスボラ ンティアを随時募集 中
遺 族 会 の 名 先 と 連 絡	名称: ひだまりの会 年 2 回開催 連絡先: 緩和ケア病棟 白澤	ハナミズキの会 緩和ケア病棟 年 1 回開催	偲ぶ会 (連絡先: 緩和 ケア病棟) 当院緩和 ケア病棟でお亡くな りになった方のご遺 族の方のみ 年 1 回 開催	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ 年 1 回開催	しちせき 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 4 回開催
入 院 料	定額制 (3 段階... 診 療報酬上の緩和ケア 病棟入院料に準じま す)、保険適用	定額制です。入院日 期間によって 3 段階 での算定です	定額制 (入院期間によ り 3 段階) ただし、定 額に含まれない加算や 有料個室の料金等は別 途追加になります		定額制 (マルメ)。 3 段階になります
ペットの同伴	面会は可能 (事前に 看護師に相談)・宿泊 は不可	面会は可能。宿泊や 飼育は不可	一時的な面会のみ可 能	面会可能。宿泊不可	面会可能。宿泊不可
麻 酔 医 と の 携 連	なし	硬膜外ブロックなどを行 う場合などに連携あり	なし	院内ペインクリニックと連携	麻酔医が非常勤なの で頻度は少ない

岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2017年1月～3月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで79,180個に上っています。帽子を作るボランティアの皆さんに深く感謝申し上げます。



*抗がん剤の治療中、時々憂鬱な気分になる時があります。夜になるとなんだか一人ぼっちになったような気がして寂しくなる時もあります。そんな時にこのタオル帽子を見たら、「頑張って!!一人じゃないよ!!」と言ってもらっているような気持ちになって、乗り越えていけるような気がします!!残りの治療、タオル帽子と一緒に乗り越えていきます!!治療が終わったら岩手県、行きたいです!
(東京都)



タオル帽子を縫い上げてにっこり。
患者さんに届けタオル帽子!

*「いのちがいちばん輝く日」上映会のご縁にあい、死によって受け継がれるいのちを実感致しました。タオル帽子型紙お願いします。ボランティアとして作りたい!!
(盛岡市)

*2月に乳がんの手術をしました。毎日不安な日々を送っていましたが、相談員の方がタオル帽子を送って下さいました。私は思わずこの帽子を手に取り涙が出て感謝の気持ちでいっぱいになりました。元気と勇気が湧いてきました。ありがとうございました。
(佐賀県)



フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお願ひ申し上げます。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しております。できましたらご寄付のご協力をお願いいたします。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひお送りください。

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛

タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。申し込み方法：はがきかメールで。

※メールアドレス：hospice@eins.rnac.ne.jp

はがき：〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

これからのタオル帽子講習会・サロン日程

6月10日：タオル帽子講習会・サロン 7月8日：タオル帽子講習会・サロン

●場所：盛岡市総合福祉センター

●開催時間：午後1時30分から ●問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願ひます。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

全国のがん診療連携拠点病院で「苦痛のスクリーニング」の取り組みが始まっています。岩手医科大学附属病院の取り組みをご紹介します。

岩手医科大学附属病院における苦痛のスクリーニング実施について

岩手医科大学附属病院緩和ケアセンター 乳がん看護認定看護師 三浦 一穂

がん診療連携拠点病院においては、がん対策推進基本計画によって患者さんのつらさを把握するための苦痛に関するスクリーニングの実施が求められています。がんの診断時から、患者さんの苦痛を拾い上げ、適切なケアにつなげるため、各病院の実情に沿った実施方法の構築が求められてきました。当院では、緩和ケアセンターと17名の緩和ケアリンクナース、17名のがん領域の専門・認定看護師とともに苦痛のスクリーニングと患者さんへのケアの提供体制について検討をすすめてきました。

スクリーニングは、がん患者さんが多く入院する病棟と外来化学療法室で開始しています。スクリーニングの内容は、米国のMDアンダーソンがんセンターで作成された症状評価表をもとに作成し、痛みや吐き気などの症状13項目と、気持ちや仕事などの日常生活の支障6項目から構成されています。実際のスクリーニング及び対応は、以下の流れで行っています。

1) 患者さんにスクリーニングシートを記入していただく。あるいはご自身での記入が難しい方においては、看護師がお話を伺い記入する。

2) スクリーニング結果をもとに、担当看護師が患者さんのつらい点について直接伺い、得られた情報を担当医師や看護師間で共有し、症状への対応や適切な支援を行う

3) スクリーニング施行時に、院内の相談窓口をまとめたリーフレットをお渡しし、患者さんが退院後など困った時に相談ができるよう情報提供を行う

4) 専門的なケアが必要と判断された場合や、患者さんのご希望により、病棟の専門・認定看護師や緩和ケアチームの多職種により、多層的に患者さんのサポートを行う。

がんの療養中は、痛みや吐き気、だるさなどの身体の苦痛、気持ちの落ち込みや経済的問題など様々な辛さや問題に直面すると言われていきます。当院で平成28年4月から平成29年2



岩手医科大学附属病院緩和ケアチーム

月までの10ヶ月間に実施したスクリーニング約4,000件において、約半数の方が何かしらの症状や辛さを抱えており、主治医や病棟看護師による対応や、専門・認定看護師、緩和ケアチームと連携したサポートを提供してきました。苦痛のスクリーニングの実施においては、患者さんのつらさを拾い上げることはもちろんですが、そのつらさをきちんと適切なケアに繋げることが重要であると考えています。

このため、患者さんの一番身近にいる医療者である病棟・外来看護師、各部署所属のリンクナース、専門的ケアを学んだ専門・認定看護師、緩和ケアチームが継続した学習会で共に知識を深め合い、良好な連携体制を構築することに努めています。これからも患者さんやご家族に適切なケアの提供ができるように更なる努力をしていきたいと考えます。

患者さん、ご家族の方々も不安や辛さを一人で抱えず、遠慮せずぜひご相談いただければと思います。また、当院は、がん診療連携拠点病院であり、当院に通院・入院されている患者さん・ご家族はもちろんですが、地域の皆様の相談に対応する役割も担っています。お困りのことがありましたら、がん相談支援センターやがん患者・家族サロンなどにご相談いただければと思います。

岩手医大がん相談支援センター：直通 019-651-5677
岩手医大がん患者・家族サロン：019-651-5111
(内線 3788)

I. 現在、身体と気持ちのつらさがありますか？ 岩手医大で行われている「患者さんが記入するスクリーニングシート」(前頁参照)

() はい → はいの方は、下記の当てはまる症状に○を付けてください。(特につらいものは◎を付けてください)
 () いいえ

痛み	()	だるさ	()	吐き気・嘔吐	()
睡眠障害	()	ストレス	()	息切れ	()
物忘れ	()	食欲不振	()	眠気	()
口の渇き	()	悲しい気持ち	()	しびれやピリピリ痛む感じ	()
その他	()				

II. 日常生活に支障はありますか？

() はい → はいの方は、下記の当てはまる症状に○を付けてください。
 () いいえ

日常生活の全般行動	()	気持ち	()	仕事(家事を含む)	()
対人関係	()	歩くこと	()	生活を楽しむこと	()

お知らせ

盛岡赤十字病院より、ホスピスの会通信 56 号掲載記事、「盛岡赤十字病院緩和ケア病棟入院までの流れ」の内容に誤りがあるとのこと指摘をいただきました。以下の通り訂正いたします。ご迷惑をおかけした関係者の皆様に謹んでお詫び申し上げます。

訂正前：「とにかく元気なうちにできるだけ早めに手続きを終えることがポイントです。」
 訂正後：「すぐの入院希望ではなくても、緩和ケア病棟について詳しく知りたいときには、「緩和ケア相談室」までご連絡ください。
 緩和ケア相談室：tel 019-637-3111(内線 338) 月～金 9:00～16:00」

昨年 11 月、私たちと一緒に同院緩和ケア病棟を見学された、宮古市のがん患者会「らんきゅう」代表の小本靖子さんは 3 月 10 日に横浜のホスピスで亡くられました。
 何年も抗がん剤の副作用やがんの痛みと向き合った末のことでした。
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

***** 岩手ホスピスの会活動日誌 *****

2017 年 1 月～ 4 月

- 1 月 14 日 第 1 回役員会～タオル帽子サロン・講習会
 …………… (盛岡市総合福祉センター、30 名)
- 1 月 22 日 岩手医科大学附属病院緩和ケア医師研修会で「岩手における患者さんの声」と題して講演
 …………… (岩手医大循環器センター、3 名)
- 1 月 28 日 総会資料準備作業 (盛岡市タオル帽子倉庫、5 名)
- 2 月 4 日 岩手ホスピスの会平成 28 年度総会
 ～記念映画上映会 …………… (盛岡劇場、350 名)
- 2 月 18 日 タオル帽子倉庫作業 (盛岡市タオル帽子倉庫、6 名)
- 3 月 4 日 第 2 回役員会、総会資料印刷発送作業
 …………… (盛岡市総合福祉センター、8 名)
- 3 月 11 日 タオル帽子サロン・講習会…………… (盛岡市総合福祉センター、31 名)
 ～東日本大震災復興祈念イベント「高田に輝の花を咲かせよう」参加
 …………… (陸前高田市下和野災害公営住宅前、2 名)
- 3 月 16 日 第 19 回岩手県がん対策推進協議会参加 …………… (岩手県公会堂、2 名)
- 3 月 24 日 MSD 株式会社主催タオル帽子講習会 …………… (東京都・MSD 株式会社、4 名)
 ケアタウン小平見学…………… (東京都、1 名)
- 4 月 1 日 タオル帽子倉庫作業 …………… (盛岡市タオル帽子倉庫、3 名)
- 4 月 8 日 第 3 回役員会～タオル帽子サロン・講習会 …………… (盛岡市総合福祉センター、24 名)



4 月 8 日 盛岡二高家庭クラブよりタオル帽子活動に役立てて、とタオルを寄贈いただきました。家庭クラブの皆さん、ありがとうございました。

今年もやります! 被災地支援 草刈りボランティア募集

6月24日(土)、東日本大震災被災地・陸前高田市仮設住宅周辺に生い茂った雑草の草刈りボランティアを行います。ご参加をお待ちしています。

連絡先: 岩手ホスピスの会 090-2604-7918

終末医療の映画上映

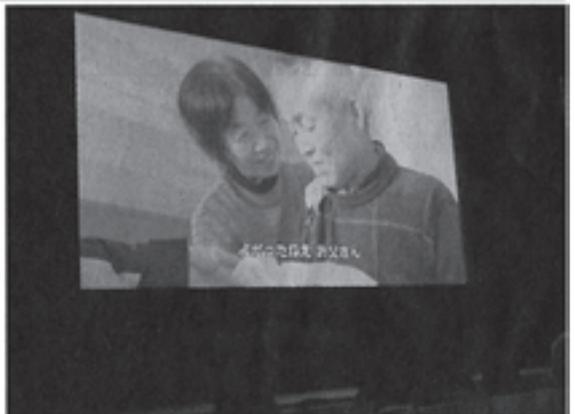
「希望館」には、がんの終末期を迎えた人たちが集う。入院患者やその家族の表情は穏やか。ホスピス長である細井順さんをはじめ、病棟スタッフが一人ひとりに寄り添い、与えられた一日を精いっぱい生きてもらうためのケアを実践しているから

痛みや不安に悩む、がん患者らの支援に取り組む、岩手ホスピスの会川守田裕司代表

ある医療施設ホスピスの「希望館」には、がんの終末期を迎えた人たちが集う。入院患者やその家族の表情は穏やか。ホスピス長である細井順さんをはじめ、病棟スタッフが一人ひとりに寄り添い、与えられた一日を精いっぱい生きてもらうためのケ

アを実践しているから出てくる「幸福の本体」が描かれている」とコメントを寄せている。会場を訪れた佐藤洋一郎さん(74)は「病気をしている本人より寄り添う看護者のほうが大変かもしれない。皆が通る道。一日一日を大事に生きないといけない」と感想を話した。

川守田代表は「ホスピスは施設の中のことだけではない。困難な人、悩める他者に寄り添う心が本質。一人でも多くの人に伝えられるよう活動を続けていきたい」と語る。



岩手ホスピスの会主催で開かれた、ドキュメンタリー映画「いのちがいちばん輝く日」の上映会

盛岡タイムス 2017年2月12日掲載

計画に患者、家族の声を

県対がん 県がん対策推進協議会 県が今年度中に次期計画

県がん対策推進協議会(会長・小原紀彰県医師会副会長、委員20人)は18日、盛岡市の県公会堂で開かれ、新年度に取り組み、次期県がん対策推進計画や保健医療計画(がんの医療体制)の策定などについて意見を交わした。患者団体の代表からは、計画の見直しに当たり、患者・家族会による専門委員会などを設けて、意見をより反映させてほしいとの要望もあった。

県は国が夏ごろに示す第3期がん対策推進基本計画や新たな医療計画策定方針に基づいて、今年度中に次期計画(2018年度からの5カ年)を策定する。岩手ホスピスの会の川守田裕司代表は「身体的苦痛や精神的・社会的苦痛の緩和が十分に行われていないがん患者が3〜4割いる▽緩和ケアが終末期医療と誤解されている▽医療従事者の理解不足から、がんと診断された時からの緩和ケアの提供が不十分▽患者やその家族が主治医にがんの痛みやつらさをいまだに訴えにくい」など、国の検討会でも指摘されている緩和ケアの課題を挙げ、改善の必要性を指摘。患者や家族の生の声が施策に反映される仕組みの充実を改めて求めた。

県医療政策室の高橋幸代地域医療推進課長は、がん対策基本法では、がん患者の雇用の継続や就労支援にも力点を置く。県立中央病院の宮田剛副院長は「就労支援対策の効果を明確にシフィードバックしていくことが重要。何を指して指標としていくか検討する必要がある」と述べた。

県がん対策推進協議会(会長・小原紀彰県医師会副会長、委員20人)は18日、盛岡市の県公会堂で開かれ、新年度に取り組み、次期県がん対策推進計画や保健医療計画(がんの医療体制)の策定などについて意見を交わした。患者団体の代表からは、計画の見直しに当たり、患者・家族会による専門委員会などを設けて、意見をより反映させてほしいとの要望もあった。



医療関係者や患者・家族会の代表らが意見を交わした県がん対策推進協議会

盛岡タイムス 2017年3月19日掲載